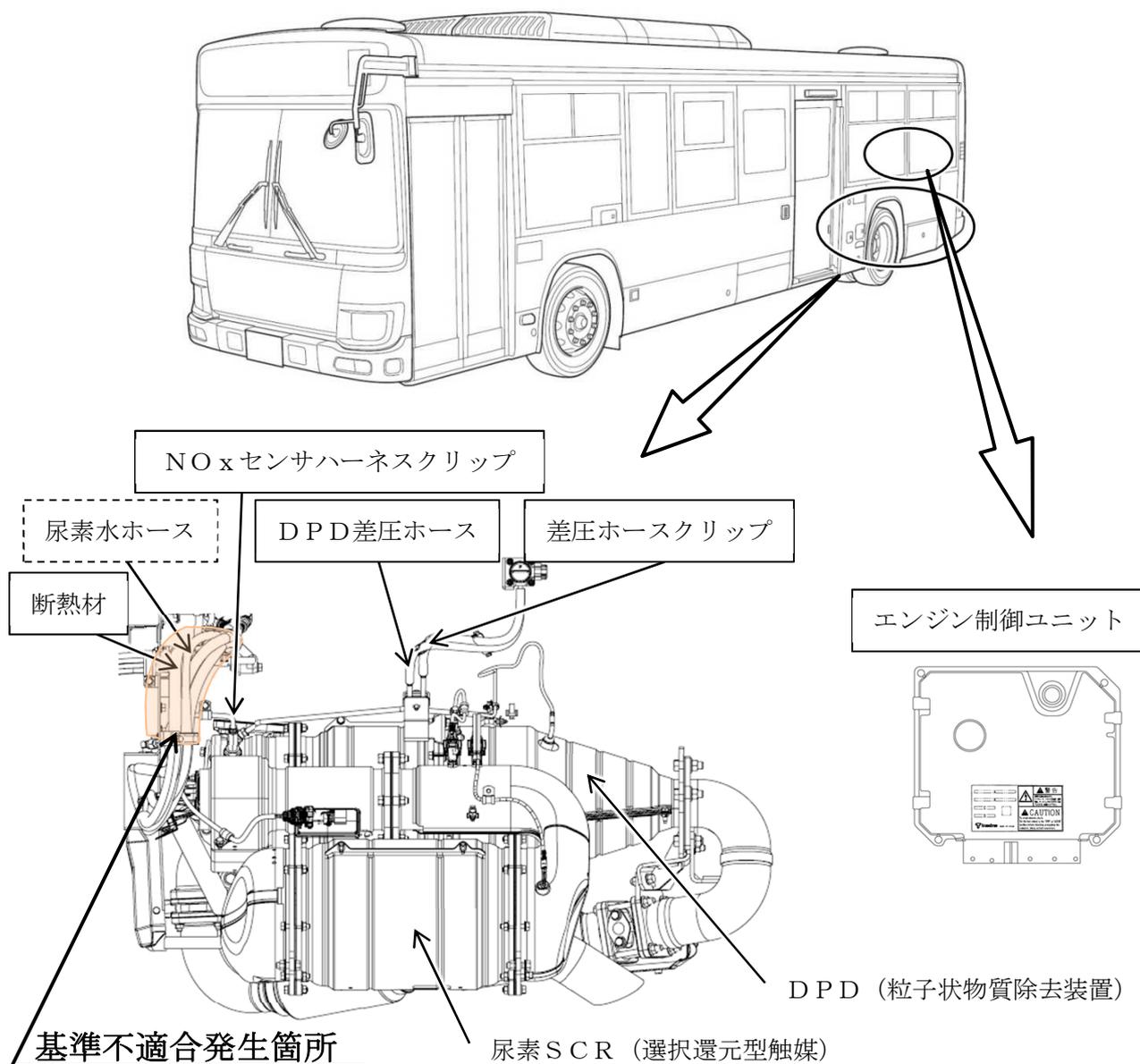


改善箇所説明図②



注： は交換、追加する部品を示す。

は溶損している場合に修復または交換する部品を示す。

バスの排出ガス発散防止装置において、DPD（粒子状物質除去装置）再生時のエンジン制御プログラムが不適切なため、DPD再生用燃料の一部がDPDの下流で燃焼し、尿素SCR（選択還元型触媒）付近の排出ガス温度が高温となることがある。そのため、その放射熱により尿素水ホース等が溶損して尿素水が漏れ、排出ガス中の窒素酸化物（NO_x）の排出値が基準値を超えるおそれがある。

改善の内容：

全車両、エンジン制御ユニットを対策品に交換する。また、尿素水ホースに断熱材を追加し、差圧ホース、クリップを対策品に交換する。なお、尿素水ホースを点検し、溶損している場合は修復または新品に交換する。

識別：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレートの右側中央に白色ペイントを塗布する。